

地球温暖化対策報告書（その1）

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあつては名称 及び代表者の氏名)	江戸川区 区長 多田 正見
事業者番号	A 1 0 2 0

2 報告する事業所等の全体の状況（平成29年度）

条例第8条の23第1項 報告事業所数	67 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	8,051 kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	2 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	48 kl

3 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1
----------	---

4 事業者としての取組

取組方針	平成13年1月に「第1次環境行動計画」を策定し、庁舎等のエネルギー消費量及び温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを開始した。以降、「第2次環境行動計画（平成17～平成19年度）」、「第3次環境行動計画（平成20～平成24年度）」、「第4次環境行動計画（平成25～平成29年度）」を経て、平成30年度から「第5次環境行動計画」による取り組みを推進している。			
組織体制の 整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A104	取組状況の点検体制の構築
	A102	温暖化対策推進担当の配置		
	A103	具体的な取組目標と内容の設定		

5 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立小松川小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	0	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井4-1-23									
事業所等の延床面積	4,056.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	71	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	138 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	142 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	34.0 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	21,316.7	45.00	959.3	0.014	47.8	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	184,734.0	9.76	1,803.0	0.489	90.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,762.3		138.2	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,074.0			0.251	1.8	
	公共下水道		m ³	7,074.0			0.439	3.1	
合計								4.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立小松川第二小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	0	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	小松川 3-6-4									
事業所等の延床面積	6,464.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	91	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	176	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	6	t
	総計(= +)	182	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	27.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	12,977.3	45.00	584.0	0.014	29.1	
	その他(灯油)		L	144.0	36.70	5.3	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	301,206.0	9.76	2,939.8	0.489	147.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,529.0		176.8	
その他	水道及び工業用水道		m ³	8,739.0			0.251	2.2	
	公共下水道		m ³	8,739.0			0.439	3.8	
合計								6.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
			C115	事務用機器を業務終了時に停止	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立平井小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	0	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井 6-35-1									
事業所等の延床面積	4,397.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	59	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	114	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5	t
	総計(= +)	119	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	25.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	16,181.8	45.00	728.2	0.014	36.3	
	その他(灯油)		L	108.0	36.70	4.0	0.019	0.3	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	159,466.0	9.76	1,556.4	0.489	78.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,288.5		114.6	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,365.0			0.251	1.8	
	公共下水道		m ³	7,365.0			0.439	3.2	
合計								5.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立平井西小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	0	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井7-22-24									
事業所等の延床面積	3,495.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	46	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	90	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3	t
	総計(= +)	93	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	25.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	14,026.2	45.00	631.2	0.014	31.5	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	119,949.0	9.76	1,170.7	0.489	58.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,801.9		90.1	
その他	水道及び工業用水道		m ³	5,682.5			0.251	1.4	
	公共下水道		m ³	5,682.5			0.439	2.5	
合計								3.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立平井東小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	0	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井4-28-9									
事業所等の延床面積	3,792.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	48	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	93 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3 t
	総計(= +)	96 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.5 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	11,209.3	45.00	504.4	0.014	25.2	
	その他(灯油)	L	108.0	36.70	4.0	0.019	0.3	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	139,526.0	9.76	1,361.8	0.489	68.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,870.2		93.7	
その他	水道及び工業用水道	m ³	4,536.0			0.251	1.1	
	公共下水道	m ³	4,536.0			0.439	2.0	
合計							3.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立平井南小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	0	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井3-3-1									
事業所等の延床面積	4,924.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	56	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	109 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	113 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	22.1 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	12,564.6	45.00	565.4	0.014	28.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	165,621.0	9.76	1,616.5	0.489	81.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,181.9		109.2	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,216.2			0.251	1.8	
	公共下水道		m ³	7,216.2			0.439	3.2	
合計								5.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立松江小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	0	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松江 1-16-5									
事業所等の延床面積	7,649.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	89	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	172 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	176 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	22.4 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	11,973.0	45.00	538.8	0.014	26.9	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	298,473.0	9.76	2,913.1	0.489	146.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,451.9		172.8	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,880.0			0.251	1.7	
	公共下水道		m ³	6,880.0			0.439	3.0	
合計								4.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立西一之江小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	0	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松江 7-17-1									
事業所等の延床面積	4,565.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	65	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	127 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	131 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	27.8 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	22,606.2	45.00	1,017.3	0.014	50.7	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	156,825.0	9.76	1,530.6	0.489	76.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,547.9		127.4	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,085.0			0.251	1.8	
	公共下水道		m ³	7,085.0			0.439	3.1	
合計								4.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施</p>

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立第二松江小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	1	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松島 2-16-20									
事業所等の延床面積	3,321.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	45	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	87	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3	t
	総計(= +)	90	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	13,512.9	45.00	608.1	0.014	30.3	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	116,783.0	9.76	1,139.8	0.489	57.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,747.9		87.4	
その他	水道及び工業用水道		m ³	4,710.0			0.251	1.2	
	公共下水道		m ³	4,710.0			0.439	2.1	
合計								3.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立西小松川小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	1	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松島 3-30-6									
事業所等の延床面積	4,629.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	55	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	107 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	111 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	23.1 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	14,365.5	45.00	646.4	0.014	32.2	
	その他(灯油)	L	128.0	36.70	4.7	0.019	0.3	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	153,611.0	9.76	1,499.2	0.489	75.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,150.4		107.7	
その他	水道及び工業用水道	m ³	6,119.0			0.251	1.5	
	公共下水道	m ³	6,119.0			0.439	2.7	
合計							4.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立大杉小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	1	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央 2-16-15									
事業所等の延床面積	4,205.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	60	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	117 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	121 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	27.8 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	19,320.5	45.00	869.4	0.014	43.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	150,908.0	9.76	1,472.9	0.489	73.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,342.3		117.1	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,445.0			0.251	1.6	
	公共下水道		m ³	6,445.0			0.439	2.8	
合計								4.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立大杉第二小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	1	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	大杉3-11-1									
事業所等の延床面積	4,552.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	63	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	122 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	127 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.8 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	20,828.5	45.00	937.3	0.014	46.7	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	155,557.0	9.76	1,518.2	0.489	76.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,455.5		122.8	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,311.0			0.251	1.8	
	公共下水道		m ³	7,311.0			0.439	3.2	
合計								5.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立第三松江小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	1	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央4-13-1									
事業所等の延床面積	7,456.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	83	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	161 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	165 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	21.5 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	19,738.1	45.00	888.2	0.014	44.3	
	その他(灯油)	L	324.0	36.70	11.9	0.019	0.8	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	237,454.0	9.76	2,317.6	0.489	116.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					3,217.7		161.2	
その他	水道及び工業用水道	m ³	6,760.0			0.251	1.7	
	公共下水道	m ³	6,760.0			0.439	3.0	
合計							4.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立大杉東小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	1	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西一之江 2-8-5									
事業所等の延床面積	4,450.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	58	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	112 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	116 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	25.1 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	20,910.7	45.00	941.0	0.014	46.9	
	その他(灯油)		L	72.0	36.70	2.6	0.019	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	134,030.0	9.76	1,308.1	0.489	65.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²				kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計						2,251.8		112.6	
その他	水道及び工業用水道			m ³	6,555.0			0.251	1.6
	公共下水道			m ³	6,555.0			0.439	2.9
合計								4.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立東小松川小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	1	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小松川 3-27-1									
事業所等の延床面積	4,608.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	72	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	140	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5	t
	総計(= +)	145	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	30.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	27,012.2	45.00	1,215.5	0.014	60.6	
	その他(灯油)		L	108.0	36.70	4.0	0.019	0.3	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	162,222.0	9.76	1,583.3	0.489	79.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,802.8		140.2	
その他	水道及び工業用水道		m ³	8,143.0			0.251	2.0	
	公共下水道		m ³	8,143.0			0.439	3.6	
合計								5.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立船堀小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	1	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	9	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	船堀 2-22-22									
事業所等の延床面積	8,160.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	88	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	172 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	176 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	21.0 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	21,438.5	45.00	964.7	0.014	48.1	
	その他(灯油)		L	72.0	36.70	2.6	0.019	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	253,686.0	9.76	2,476.0	0.489	124.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,443.3		172.3	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,760.0			0.251	1.7	
	公共下水道		m ³	6,760.0			0.439	3.0	
合計								4.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立船堀第二小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	1	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	9	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	船堀 4-14-4									
事業所等の延床面積	6,776.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	93	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	180	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	6	t
	総計(= +)	186	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	29,768.1	45.00	1,339.6	0.014	66.8	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	232,394.0	9.76	2,268.2	0.489	113.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,607.7		180.4	
その他	水道及び工業用水道		m ³	9,173.0			0.251	2.3	
	公共下水道		m ³	9,173.0			0.439	4.0	
合計								6.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立葛西小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	1	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中葛西 2-4-34									
事業所等の延床面積	5,389.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	74	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	145 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	149 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.9 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	15,247.0	45.00	686.1	0.014	34.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	227,399.0	9.76	2,219.4	0.489	111.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²				kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計						2,905.5		145.4	
その他	水道及び工業用水道			m ³	5,997.0			0.251	1.5
	公共下水道			m ³	5,997.0			0.439	2.6
合計								4.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB05_昼休み時の消灯の実施、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立二之江小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	2	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川6-44									
事業所等の延床面積	5,174.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	65	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	126	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	130	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	12,989.9	45.00	584.5	0.014	29.1	
	その他(灯油)		L	54.0	36.70	2.0	0.019	0.1	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	199,559.0	9.76	1,947.7	0.489	97.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,534.2		126.9	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,151.0			0.251	1.5	
	公共下水道		m ³	6,151.0			0.439	2.7	
合計								4.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立二之江第二小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	2	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	0	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	春江町 5-13									
事業所等の延床面積	4,276.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	58	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	113	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	117	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	15,076.9	45.00	678.5	0.014	33.8	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	162,928.0	9.76	1,590.2	0.489	79.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,268.6		113.5	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,013.0			0.251	1.8	
	公共下水道		m ³	7,013.0			0.439	3.1	
合計								4.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立二之江第三小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	2	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 5-18-3									
事業所等の延床面積	3,821.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	49	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	95 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3 t
	総計(= +)	98 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.8 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	12,409.9	45.00	558.4	0.014	27.8	
	その他(灯油)		L	108.0	36.70	4.0	0.019	0.3	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	138,424.0	9.76	1,351.0	0.489	67.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,913.4		95.8	
その他	水道及び工業用水道		m ³	5,136.0			0.251	1.3	
	公共下水道		m ³	5,136.0			0.439	2.3	
合計								3.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立第二葛西小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	2	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東葛西 6-33-1									
事業所等の延床面積	8,776.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	122	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	237 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	6 t
	総計(= +)	243 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	27.0 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	22,936.8	45.00	1,032.2	0.014	51.5	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	380,786.0	9.76	3,716.5	0.489	186.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					4,748.6			237.7	
その他	水道及び工業用水道		m ³	8,951.0			0.251	2.2	
	公共下水道		m ³	8,951.0			0.439	3.9	
合計								6.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立第三葛西小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	2	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北葛西 4-2-19									
事業所等の延床面積	5,064.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	57	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	110 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	115 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	21.7 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	14,805.3	45.00	666.2	0.014	33.2	
	その他(灯油)		L	108.0	36.70	4.0	0.019	0.3	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	158,121.0	9.76	1,543.3	0.489	77.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,213.5		110.8	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,734.0			0.251	1.9	
	公共下水道		m ³	7,734.0			0.439	3.4	
合計								5.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立第四葛西小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	2	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中葛西 8-8-1									
事業所等の延床面積	5,090.20		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	76	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	148	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	7	t
	総計(= +)	155	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	29.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	26,648.7	45.00	1,199.2	0.014	59.8	
	その他(灯油)		L	144.0	36.70	5.3	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	180,838.0	9.76	1,765.0	0.489	88.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,969.5		148.6	
その他	水道及び工業用水道		m ³	10,974.0			0.251	2.8	
	公共下水道		m ³	10,974.0			0.439	4.8	
合計								7.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
CO ₂ 排出量(延床面積当たり)			kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
その他		特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立第五葛西小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	2	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北葛西 2-13-33									
事業所等の延床面積	5,653.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	66	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	128	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	7	t
	総計(= +)	135	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	22.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	17,266.4	45.00	777.0	0.014	38.7	
	その他(灯油)		L	378.0	36.70	13.9	0.019	0.9	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	181,323.0	9.76	1,769.7	0.489	88.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,560.6		128.4	
その他	水道及び工業用水道		m ³	11,347.0			0.251	2.8	
	公共下水道		m ³	11,347.0			0.439	5.0	
合計								7.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立第六葛西小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	2	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西 4-5-1									
事業所等の延床面積	6,747.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	72	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	140	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	6	t
	総計(= +)	146	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	20.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	17,105.9	45.00	769.8	0.014	38.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	209,380.0	9.76	2,043.5	0.489	102.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,813.3		140.8	
その他	水道及び工業用水道		m ³	9,225.0			0.251	2.3	
	公共下水道		m ³	9,225.0			0.439	4.0	
合計								6.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立第七葛西小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	2	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西 7-8-1									
事業所等の延床面積	5,633.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	71	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	137	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5	t
	総計(= +)	142	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	21,590.2	45.00	971.6	0.014	48.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	182,536.0	9.76	1,781.6	0.489	89.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,753.1		137.7	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,717.0			0.251	1.9	
	公共下水道		m ³	7,717.0			0.439	3.4	
合計								5.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立南葛西小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	2	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南葛西 5-10-1									
事業所等の延床面積	5,371.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	71	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	139	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	143	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	25.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	24,385.8	45.00	1,097.4	0.014	54.7	
	その他(灯油)		L	72.0	36.70	2.6	0.019	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	172,231.0	9.76	1,681.0	0.489	84.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,781.0		139.1	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,772.0			0.251	1.7	
	公共下水道		m ³	6,772.0			0.439	3.0	
合計								4.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	有	無				
目標値等(選択)						
			CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
			その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立南葛西第二小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	3	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南葛西 7-5-9									
事業所等の延床面積	4,724.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	71	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	138 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	143 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	29.2 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	24,510.5	45.00	1,103.0	0.014	55.0	
	その他(灯油)		L	90.0	36.70	3.3	0.019	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	171,223.0	9.76	1,671.1	0.489	83.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,777.4		139.0	
その他	水道及び工業用水道		m ³	8,046.0			0.251	2.0	
	公共下水道		m ³	8,046.0			0.439	3.5	
合計								5.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施</p>

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立南葛西第三小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	3	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南葛西5-2-1									
事業所等の延床面積	6,125.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	79	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	153 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	157 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.9 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	25,329.3	45.00	1,139.8	0.014	56.8	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	197,196.0	9.76	1,924.6	0.489	96.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,064.4		153.3	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,250.0			0.251	1.6	
	公共下水道		m ³	6,250.0			0.439	2.7	
合計								4.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	有	無				
目標値等(選択)						
			CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
			その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立西葛西小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	3	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西 3-9-44									
事業所等の延床面積	6,101.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	85	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	165 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	8 t
	総計(= +)	173 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	27.0 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	31,257.7	45.00	1,406.6	0.014	70.1	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	195,228.0	9.76	1,905.4	0.489	95.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,312.0		165.6	
その他	水道及び工業用水道		m ³	12,120.0			0.251	3.0	
	公共下水道		m ³	12,120.0			0.439	5.3	
合計								8.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB03 日本工業規格に準じた照度の設定、CB05 昼休み時の消灯の実施、CB06 冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB08 温度計等による室温の把握と調整、CB09 空室・不在時等の空調停止、CB10 余熱利用による早めの空調停止、CB12 季節に応じた外気導入量の適正化、CB13 中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立新田小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	3	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西 8-16-1									
事業所等の延床面積	4,653.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	58	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	113 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	117 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.2 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	18,375.1	45.00	826.9	0.014	41.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	146,814.0	9.76	1,432.9	0.489	71.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,259.8		113.0	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,003.0			0.251	1.5	
	公共下水道		m ³	6,003.0			0.439	2.6	
合計								4.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C110	余熱利用による早めの空調停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立宇喜田小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	3	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北葛西 5-13-1									
事業所等の延床面積	4,700.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	62	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	121 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	125 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	25.7 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	18,788.9	45.00	845.5	0.014	42.2	
	その他(灯油)		L	180.0	36.70	6.6	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	161,996.0	9.76	1,581.1	0.489	79.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,433.2		121.8	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,123.0			0.251	1.8	
	公共下水道		m ³	7,123.0			0.439	3.1	
合計								4.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立清新第一小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	3	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	7	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	清新町 1-4-19									
事業所等の延床面積	5,459.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	74	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	145 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	150 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.5 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	24,081.3	45.00	1,083.7	0.014	54.0	
	その他(灯油)		L	378.0	36.70	13.9	0.019	0.9	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	184,292.0	9.76	1,798.7	0.489	90.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,896.2		145.1	
その他	水道及び工業用水道		m ³	8,456.0			0.251	2.1	
	公共下水道		m ³	8,456.0			0.439	3.7	
合計								5.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立清新ふたば小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	3	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	7	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	清新町 1-1-38									
事業所等の延床面積	6,935.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	71	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	139 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	143 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	20.0 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	15,844.4	45.00	713.0	0.014	35.6	
	その他(灯油)		L	198.0	36.70	7.3	0.019	0.5	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	211,708.0	9.76	2,066.3	0.489	103.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,786.5		139.6	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,306.0			0.251	1.6	
	公共下水道		m ³	6,306.0			0.439	2.8	
合計								4.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立臨海小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	3	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	臨海町 2-2-11									
事業所等の延床面積	6,709.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	89	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	174 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	179 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	25.9 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	30,802.5	45.00	1,386.1	0.014	69.1	
	その他(灯油)		L	244.0	36.70	9.0	0.019	0.6	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	214,175.0	9.76	2,090.3	0.489	104.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²				kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計						3,485.4		174.5	
その他	水道及び工業用水道			m ³	8,294.0			0.251	2.1
	公共下水道			m ³	8,294.0			0.439	3.6
合計								5.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立東葛西小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	3	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東葛西 8-23-1									
事業所等の延床面積	5,858.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	99	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	192 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	7 t
	総計(= +)	199 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	32.7 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	30,122.9	45.00	1,355.5	0.014	67.6	
	その他(灯油)		L	126.0	36.70	4.6	0.019	0.3	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	255,527.0	9.76	2,493.9	0.489	125.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,854.1		192.9	
その他	水道及び工業用水道		m ³	10,864.0			0.251	2.7	
	公共下水道		m ³	10,864.0			0.439	4.8	
合計								7.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立瑞江小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	4	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西瑞江 3-39									
事業所等の延床面積	6,523.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	62	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	120 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	125 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	18.3 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	18,525.9	45.00	833.7	0.014	41.6	
	その他(灯油)		L	72.0	36.70	2.6	0.019	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	160,835.0	9.76	1,569.7	0.489	78.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²				kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計						2,406.1		120.4	
その他	水道及び工業用水道			m ³	8,350.0			0.251	2.1
	公共下水道			m ³	8,350.0			0.439	3.7
合計								5.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立春江小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	4	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	瑞江 1-3-30									
事業所等の延床面積	8,480.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	102	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	198 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	202 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	23.3 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	25,101.1	45.00	1,129.6	0.014	56.3	
	その他(灯油)		L	72.0	36.70	2.6	0.019	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	289,472.0	9.76	2,825.2	0.489	141.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,957.4		198.1	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,361.0			0.251	1.6	
	公共下水道		m ³	6,361.0			0.439	2.8	
合計								4.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立新堀小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	4	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	0	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	新堀 1-32-1									
事業所等の延床面積	4,143.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	65	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	126 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	130 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	30.4 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	17,801.9	45.00	801.1	0.014	39.9	
	その他(灯油)		L	180.0	36.70	6.6	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	176,605.0	9.76	1,723.7	0.489	86.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,531.4		126.8	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,998.0			0.251	1.8	
	公共下水道		m ³	6,998.0			0.439	3.1	
合計								4.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立下鎌田小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	4	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西瑞江 2-29									
事業所等の延床面積	4,775.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	53	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	103	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3	t
	総計(= +)	106	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	21.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	18,802.4	45.00	846.1	0.014	42.2	
	その他(灯油)		L	72.0	36.70	2.6	0.019	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	125,578.0	9.76	1,225.6	0.489	61.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,074.4		103.8	
その他	水道及び工業用水道		m ³	5,137.0			0.251	1.3	
	公共下水道		m ³	5,137.0			0.439	2.3	
合計								3.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立下鎌田東小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	4	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	江戸川 2-21									
事業所等の延床面積	4,299.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	57	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	112	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	6	t
	総計(= +)	118	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	15,137.8	45.00	681.2	0.014	34.0	
	その他(灯油)		L	144.0	36.70	5.3	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	159,672.0	9.76	1,558.4	0.489	78.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,244.9		112.4	
その他	水道及び工業用水道		m ³	8,967.0			0.251	2.3	
	公共下水道		m ³	8,967.0			0.439	3.9	
合計								6.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施</p>

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立下鎌田西小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	4	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	西瑞江 2-30									
事業所等の延床面積	5,853.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	62	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	122 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	127 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	20.8 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	19,683.0	45.00	885.7	0.014	44.2	
	その他(灯油)		L	72.0	36.70	2.6	0.019	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	158,997.0	9.76	1,551.8	0.489	77.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,440.2		122.1	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,429.0			0.251	1.9	
	公共下水道		m ³	7,429.0			0.439	3.3	
合計								5.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立江戸川小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	4	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 1-37									
事業所等の延床面積	4,161.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	46	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	89	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3	t
	総計(= +)	92	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	21.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	11,716.8	45.00	527.3	0.014	26.3	
	その他(灯油)		L	90.0	36.70	3.3	0.019	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	128,939.0	9.76	1,258.4	0.489	63.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,789.0		89.6	
その他	水道及び工業用水道		m ³	4,547.0			0.251	1.1	
	公共下水道		m ³	4,547.0			0.439	2.0	
合計								3.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分			
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立一之江小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	4	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	一之江 4-5-1									
事業所等の延床面積	5,280.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	62	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	120	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	124	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	22.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	20,448.6	45.00	920.2	0.014	45.9	
	その他(灯油)		L	72.0	36.70	2.6	0.019	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	152,437.0	9.76	1,487.8	0.489	74.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,410.6		120.6	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,235.0			0.251	1.6	
	公共下水道		m ³	6,235.0			0.439	2.7	
合計								4.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
CO ₂ 排出量(延床面積当たり)			kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
その他		特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立一之江第二小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	4	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	0	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	春江町 4-16									
事業所等の延床面積	5,588.06		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	72	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	140	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5	t
	総計(= +)	145	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	25.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	22,161.5	45.00	997.3	0.014	49.7	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	186,127.0	9.76	1,816.6	0.489	91.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,813.9		140.7	
その他	水道及び工業用水道		m ³	8,379.0			0.251	2.1	
	公共下水道		m ³	8,379.0			0.439	3.7	
合計								5.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立鹿本小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	4	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	4	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松本 2-35-7									
事業所等の延床面積	3,597.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	45	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	88	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	2	t
	総計(= +)	90	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	13,877.3	45.00	624.5	0.014	31.1	
	その他(灯油)		L	140.0	36.70	5.1	0.019	0.3	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	116,921.0	9.76	1,141.1	0.489	57.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,770.8		88.7	
その他	水道及び工業用水道		m ³	3,713.0			0.251	0.9	
	公共下水道		m ³	3,713.0			0.439	1.6	
合計								2.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立鹿骨小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	5	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	7	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	鹿骨 6-3-5									
事業所等の延床面積	4,310.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	49	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	96	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	100	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	22.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	14,011.7	45.00	630.5	0.014	31.4	
	その他(灯油)		L	54.0	36.70	2.0	0.019	0.1	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	131,967.0	9.76	1,288.0	0.489	64.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,920.5		96.1	
その他	水道及び工業用水道		m ³	5,824.0			0.251	1.5	
	公共下水道		m ³	5,824.0			0.439	2.6	
合計								4.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立鹿骨東小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	5	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	7	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	鹿骨 3-7-1									
事業所等の延床面積	4,774.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	66	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	129	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	133	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	27.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	17,708.1	45.00	796.9	0.014	39.7	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	183,242.0	9.76	1,788.4	0.489	89.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,585.3		129.3	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,085.0			0.251	1.8	
	公共下水道		m ³	7,085.0			0.439	3.1	
合計								4.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立松本小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	5	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	7	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	鹿骨 6-9-1									
事業所等の延床面積	4,157.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	45	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	89	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3	t
	総計(= +)	92	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	21.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	11,609.5	45.00	522.4	0.014	26.1	
	その他(灯油)		L	144.0	36.70	5.3	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	128,304.0	9.76	1,252.2	0.489	62.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,780.0		89.2	
その他	水道及び工業用水道		m ³	5,689.0			0.251	1.4	
	公共下水道		m ³	5,689.0			0.439	2.5	
合計								3.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立本一色小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	5	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	4	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	本一色 2-10-1									
事業所等の延床面積	4,367.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	58	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	114 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3 t
	総計(= +)	117 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.1 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	20,760.8	45.00	934.2	0.014	46.6	
	その他(灯油)		L	72.0	36.70	2.6	0.019	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	137,698.0	9.76	1,343.9	0.489	67.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,280.8		114.1	
その他	水道及び工業用水道		m ³	5,440.0			0.251	1.4	
	公共下水道		m ³	5,440.0			0.439	2.4	
合計								3.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立篠崎小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	5	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	篠崎町 3-2-18									
事業所等の延床面積	4,653.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	72	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	140	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	6	t
	総計(= +)	146	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	30.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	23,018.9	45.00	1,035.9	0.014	51.7	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	182,461.0	9.76	1,780.8	0.489	89.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,816.7		140.9	
その他	水道及び工業用水道		m ³	8,701.0			0.251	2.2	
	公共下水道		m ³	8,701.0			0.439	3.8	
合計								6.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB05_昼休み時の消灯の実施、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立篠崎第二小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	5	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	上篠崎 1-3-1									
事業所等の延床面積	4,681.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	52	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	101	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3	t
	総計(= +)	104	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	21.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	13,792.2	45.00	620.7	0.014	30.9	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	144,955.0	9.76	1,414.8	0.489	70.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,035.4		101.8	
その他	水道及び工業用水道		m ³	5,578.0			0.251	1.4	
	公共下水道		m ³	5,578.0			0.439	2.4	
合計								3.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	有	無				
目標値等(選択)						
			CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
			その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立篠崎第三小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	5	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東篠崎 1-1-16									
事業所等の延床面積	7,311.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	91	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	178 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	182 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.3 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	20,699.9	45.00	931.5	0.014	46.5	
	その他(灯油)		L	270.0	36.70	9.9	0.019	0.7	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	268,003.0	9.76	2,615.7	0.489	131.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,557.1		178.2	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,383.0			0.251	1.6	
	公共下水道		m ³	6,383.0			0.439	2.8	
合計								4.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立篠崎第四小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	5	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	篠崎町 8-12-8									
事業所等の延床面積	5,173.85 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	72	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	139 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	6 t
	総計(= +)	145 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.8 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	15,357.2	45.00	691.1	0.014	34.5	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	215,745.0	9.76	2,105.7	0.489	105.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,796.7		140.0	
その他	水道及び工業用水道		m ³	8,930.0			0.251	2.2	
	公共下水道		m ³	8,930.0			0.439	3.9	
合計								6.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施</p>

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立篠崎第五小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	5	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北篠崎 2-5-1									
事業所等の延床面積	3,975.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	55	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	107	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	111	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	14,106.4	45.00	634.8	0.014	31.7	
	その他(LPG)		kg	101.2	50.80	5.1	0.016	0.3	
	その他(灯油)		L	90.0	36.70	3.3	0.019	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	153,402.0	9.76	1,497.2	0.489	75.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,140.4		107.2	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,101.0			0.251	1.8	
	公共下水道		m ³	7,101.0			0.439	3.1	
合計								4.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立南篠崎小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	5	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南篠崎町 4-27-5									
事業所等の延床面積	4,960.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	66	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	129 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	134 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.0 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	15,373.7	45.00	691.8	0.014	34.5	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	193,855.0	9.76	1,892.0	0.489	94.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,583.8		129.3	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,634.0			0.251	1.9	
	公共下水道		m ³	7,634.0			0.439	3.4	
合計								5.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立鎌田小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	6	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南篠崎町 2-45-18									
事業所等の延床面積	4,133.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	62	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	122 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	127 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	29.5 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	16,593.6	45.00	746.7	0.014	37.2	
	その他(灯油)	L	36.0	36.70	1.3	0.019	0.1	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	173,374.0	9.76	1,692.1	0.489	84.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,440.2		122.1	
その他	水道及び工業用水道	m ³	7,569.0			0.251	1.9	
	公共下水道	m ³	7,569.0			0.439	3.3	
合計							5.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策			D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立小岩小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	6	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩 3-20-10									
事業所等の延床面積	4,557.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	61	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	119	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3	t
	総計(= +)	122	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	15,076.9	45.00	678.5	0.014	33.8	
	その他(灯油)		L	54.0	36.70	2.0	0.019	0.1	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	174,259.0	9.76	1,700.8	0.489	85.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,381.2		119.2	
その他	水道及び工業用水道		m ³	5,061.0			0.251	1.3	
	公共下水道		m ³	5,061.0			0.439	2.2	
合計								3.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立東小岩小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	6	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩 4-12-1									
事業所等の延床面積	3,547.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	53	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	103	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3	t
	総計(= +)	106	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	29.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	12,718.3	45.00	572.3	0.014	28.5	
	その他(灯油)		L	148.0	36.70	5.4	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	152,494.0	9.76	1,488.3	0.489	74.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,066.1		103.5	
その他	水道及び工業用水道		m ³	5,705.0			0.251	1.4	
	公共下水道		m ³	5,705.0			0.439	2.5	
合計								3.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施</p>

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立下小岩小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	6	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南小岩 7-8-1									
事業所等の延床面積	3,480.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	53	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	103 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3 t
	総計(= +)	106 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	29.5 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	17,202.6	45.00	774.1	0.014	38.6	
	その他(灯油)		L	36.0	36.70	1.3	0.019	0.1	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	132,317.0	9.76	1,291.4	0.489	64.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,066.9		103.4	
その他	水道及び工業用水道		m ³	4,972.0			0.251	1.2	
	公共下水道		m ³	4,972.0			0.439	2.2	
合計								3.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立下小岩第二小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	6	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	南小岩 5-5-1									
事業所等の延床面積	4,364.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	40	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	77 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	2 t
	総計(= +)	79 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	17.6 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	9,948.8	45.00	447.7	0.014	22.3	
	その他(灯油)		L	256.0	36.70	9.4	0.019	0.6	
	その他(LPG)		kg	45.9	50.80	2.3	0.016	0.1	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	112,177.0	9.76	1,094.8	0.489	54.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,554.3		78.0	
その他	水道及び工業用水道		m ³	3,806.0			0.251	1.0	
	公共下水道		m ³	3,806.0			0.439	1.7	
合計								2.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立上小岩小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	6	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北小岩7-2-1									
事業所等の延床面積	4,190.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	51	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	100	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	104	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	23.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	12,327.7	45.00	554.7	0.014	27.7	
	その他(灯油)		L	270.0	36.70	9.9	0.019	0.7	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	146,940.0	9.76	1,434.1	0.489	71.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,998.8		100.2	
その他	水道及び工業用水道		m ³	5,987.0			0.251	1.5	
	公共下水道		m ³	5,987.0			0.439	2.6	
合計								4.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立上小岩第二小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	6	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北小岩 8-28-11									
事業所等の延床面積	3,596.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	45	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	88	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3	t
	総計(= +)	91	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	13,965.3	45.00	628.4	0.014	31.3	
	その他(灯油)		L	342.0	36.70	12.6	0.019	0.9	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	115,332.0	9.76	1,125.6	0.489	56.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,766.6		88.6	
その他	水道及び工業用水道		m ³	4,563.0			0.251	1.1	
	公共下水道		m ³	4,563.0			0.439	2.0	
合計								3.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
			C116	個人用端末の不用・離席時の停止	
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立西小岩小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	6	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	7	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西小岩 3-19-12									
事業所等の延床面積	5,261.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	65	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	126	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5	t
	総計(= +)	131	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	23.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	19,694.6	45.00	886.3	0.014	44.2	
	その他(灯油)		L	162.0	36.70	5.9	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	167,484.0	9.76	1,634.6	0.489	81.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,526.8		126.5	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,781.0			0.251	2.0	
	公共下水道		m ³	7,781.0			0.439	3.4	
合計								5.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施</p>

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立上一色小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	6	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	7	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西小岩 2-4-1									
事業所等の延床面積	2,457.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	31	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	60	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	2	t
	総計(= +)	62	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	7,551.5	45.00	339.8	0.014	16.9	
	その他(灯油)		L	126.0	36.70	4.6	0.019	0.3	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	88,841.0	9.76	867.1	0.489	43.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,211.5		60.7	
その他	水道及び工業用水道		m ³	3,006.0			0.251	0.8	
	公共下水道		m ³	3,006.0			0.439	1.3	
合計								2.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立上一色南小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	6	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	4	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	本一色3-28-24									
事業所等の延床面積	5,771.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	56	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	110	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5	t
	総計(= +)	115	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	19.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	15,058.5	45.00	677.6	0.014	33.8	
	その他(灯油)		L	90.0	36.70	3.3	0.019	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	156,070.0	9.76	1,523.2	0.489	76.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,204.2		110.3	
その他	水道及び工業用水道		m ³	8,419.0			0.251	2.1	
	公共下水道		m ³	8,419.0			0.439	3.7	
合計								5.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立南小岩小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	7	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南小岩 4-16-1									
事業所等の延床面積	3,948.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	57	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	111 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	115 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	28.1 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	17,698.5	45.00	796.4	0.014	39.7	
	その他(灯油)	L	108.0	36.70	4.0	0.019	0.3	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	145,391.0	9.76	1,419.0	0.489	71.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,219.4		111.1	
その他	水道及び工業用水道	m ³	6,723.0			0.251	1.7	
	公共下水道	m ³	6,723.0			0.439	3.0	
合計							4.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立南小岩第二小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	7	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南小岩 2-16-1									
事業所等の延床面積	5,805.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	49	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	95	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	99	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	16.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	12,561.7	45.00	565.3	0.014	28.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	136,679.0	9.76	1,334.0	0.489	66.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,899.3		95.0	
その他	水道及び工業用水道		m ³	5,834.0			0.251	1.5	
	公共下水道		m ³	5,834.0			0.439	2.6	
合計								4.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立中小岩小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	7	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北小岩 3-12-22									
事業所等の延床面積	4,584.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	54	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	104 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3 t
	総計(= +)	107 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	22.6 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	14,887.4	45.00	669.9	0.014	33.4	
	その他(灯油)	L	72.0	36.70	2.6	0.019	0.2	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	145,740.0	9.76	1,422.4	0.489	71.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,095.0		104.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	5,112.0			0.251	1.3	
	公共下水道	m ³	5,112.0			0.439	2.2	
合計							3.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立北小岩小学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	7	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北小岩 2-15-1									
事業所等の延床面積	3,874.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	51	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	100	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	104	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	25.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	15,638.5	45.00	703.7	0.014	35.1	
	その他(灯油)		L	144.0	36.70	5.3	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	133,792.0	9.76	1,305.8	0.489	65.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,014.8		100.9	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,305.0			0.251	1.6	
	公共下水道		m ³	6,305.0			0.439	2.8	
合計								4.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立小松川第一中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	7	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井4-7-21									
事業所等の延床面積	3,930.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	60	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	116	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	120	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	29.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	16,021.3	45.00	721.0	0.014	36.0	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	165,485.0	9.76	1,615.1	0.489	80.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,336.1		116.9	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,286.0			0.251	1.6	
	公共下水道		m ³	6,286.0			0.439	2.8	
合計								4.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立小松川第二中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	7	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井3-20-1									
事業所等の延床面積	6,468.75 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	81	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	157 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	162 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.2 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	21,086.6	45.00	948.9	0.014	47.3	
	その他(灯油)		L	180.0	36.70	6.6	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	224,017.0	9.76	2,186.4	0.489	109.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²				kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計						3,141.9		157.3	
その他	水道及び工業用水道			m ³	8,396.0			0.251	2.1
	公共下水道			m ³	8,396.0			0.439	3.7
合計								5.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立小松川第三中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	7	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井5-3-11									
事業所等の延床面積	5,418.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	84	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	164	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5	t
	総計(= +)	169	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	30.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	33,613.5	45.00	1,512.6	0.014	75.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	182,438.0	9.76	1,780.6	0.489	89.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,293.2		164.6	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,646.0			0.251	1.9	
	公共下水道		m ³	7,646.0			0.439	3.4	
合計								5.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立松江第一中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	7	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松江 5-5-1									
事業所等の延床面積	6,764.88		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	87	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	169	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	7	t
	総計(= +)	176	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	24,388.7	45.00	1,097.5	0.014	54.7	
	その他(灯油)		L	160.0	36.70	5.9	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	233,049.0	9.76	2,274.6	0.489	114.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²				kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計						3,377.9		169.1	
その他	水道及び工業用水道			m ³	11,377.0			0.251	2.9
	公共下水道			m ³	11,377.0			0.439	5.0
合計								7.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立松江第二中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	7	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松島 2-3-1									
事業所等の延床面積	5,674.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	55	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	108 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3 t
	総計(= +)	111 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	19.0 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	12,715.4	45.00	572.2	0.014	28.5	
	その他(灯油)	L	72.0	36.70	2.6	0.019	0.2	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	162,393.0	9.76	1,585.0	0.489	79.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,159.8		108.1	
その他	水道及び工業用水道	m ³	4,611.0			0.251	1.2	
	公共下水道	m ³	4,611.0			0.439	2.0	
合計							3.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立松江第三中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	7	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央1-20-1									
事業所等の延床面積	5,549.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	64	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	126	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	130	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	22.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	14,851.7	45.00	668.3	0.014	33.3	
	その他(灯油)		L	144.0	36.70	5.3	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	188,910.0	9.76	1,843.8	0.489	92.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,517.4		126.1	
その他	水道及び工業用水道		m ³	5,832.0			0.251	1.5	
	公共下水道		m ³	5,832.0			0.439	2.6	
合計								4.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立松江第四中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	8	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西一之江 1-16-1									
事業所等の延床面積	6,615.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	79	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	154	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	6	t
	総計(= +)	160	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	23.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 ¹ (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	18,369.3	45.00	826.6	0.014	41.2	
	その他(灯油)		L	108.0	36.70	4.0	0.019	0.3	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	230,277.0	9.76	2,247.5	0.489	112.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,078.1		154.1	
その他	水道及び工業用水道		m ³	9,353.0			0.251	2.3	
	公共下水道		m ³	9,353.0			0.439	4.1	
合計								6.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立松江第五中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	8	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	一之江6-18-1									
事業所等の延床面積	8,410.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	116	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	225	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	6	t
	総計(= +)	231	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	28,492.1	45.00	1,282.1	0.014	63.9	
	その他(灯油)		L	144.0	36.70	5.3	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	330,162.0	9.76	3,222.4	0.489	161.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						4,509.8		225.7	
その他	水道及び工業用水道		m ³	8,838.0			0.251	2.2	
	公共下水道		m ³	8,838.0			0.439	3.9	
合計								6.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立松江第六中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	8	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松江 7-16-18									
事業所等の延床面積	5,279.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	57	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	111 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	115 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	21.0 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	12,268.8	45.00	552.1	0.014	27.5	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	170,777.0	9.76	1,666.8	0.489	83.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,218.9		111.0	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,080.0			0.251	1.5	
	公共下水道		m ³	6,080.0			0.439	2.7	
合計								4.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立二之江中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	8	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	0	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	春江町 5-3-1									
事業所等の延床面積	6,551.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	84	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	163 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	6 t
	総計(= +)	169 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.8 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	22,187.6	45.00	998.4	0.014	49.8	
	その他(灯油)		L	365.0	36.70	13.4	0.019	0.9	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	231,598.0	9.76	2,260.4	0.489	113.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,272.2		163.9	
その他	水道及び工業用水道		m ³	9,406.0			0.251	2.4	
	公共下水道		m ³	9,406.0			0.439	4.1	
合計								6.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立葛西中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	8	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中葛西 2-4-5									
事業所等の延床面積	6,897.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	74	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	143 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3 t
	総計(= +)	146 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	20.7 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	15,107.8	45.00	679.9	0.014	33.9	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	224,240.0	9.76	2,188.6	0.489	109.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,868.4		143.6	
その他	水道及び工業用水道		m ³	5,444.0			0.251	1.4	
	公共下水道		m ³	5,444.0			0.439	2.4	
合計								3.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB03 日本工業規格に準じた照度の設定、CB05 昼休み時の消灯の実施、CB06 冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB08 温度計等による室温の把握と調整、CB09 空室・不在時等の空調停止、CB10 余熱利用による早めの空調停止、CB12 季節に応じた外気導入量の適正化、CB13 中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立葛西第二中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	8	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	宇喜田町 1085									
事業所等の延床面積	4,828.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	64	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	125	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	129	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	25.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	17,366.0	45.00	781.5	0.014	39.0	
	その他(灯油)		L	100.0	36.70	3.7	0.019	0.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	176,004.0	9.76	1,717.8	0.489	86.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,502.9		125.3	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,230.0			0.251	1.6	
	公共下水道		m ³	6,230.0			0.439	2.7	
合計								4.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立葛西第三中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	8	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中葛西 6-6-13									
事業所等の延床面積	6,649.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	74	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	144 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	8 t
	総計(= +)	152 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	21.6 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	19,547.7	45.00	879.6	0.014	43.9	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	206,028.0	9.76	2,010.8	0.489	100.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,890.5		144.6	
その他	水道及び工業用水道		m ³	12,937.0			0.251	3.2	
	公共下水道		m ³	12,937.0			0.439	5.7	
合計								8.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立南葛西中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	8	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南葛西 5-12-1									
事業所等の延床面積	5,095.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	65	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	127	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3	t
	総計(= +)	130	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	13,859.9	45.00	623.7	0.014	31.1	
	その他(灯油)		L	162.0	36.70	5.9	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	195,539.0	9.76	1,908.5	0.489	95.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,538.1		127.1	
その他	水道及び工業用水道		m ³	5,234.0			0.251	1.3	
	公共下水道		m ³	5,234.0			0.439	2.3	
合計								3.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立南葛西第二中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	8	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南葛西 5-3-1									
事業所等の延床面積	6,100.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	68	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	133 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	137 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	21.8 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	16,983.2	45.00	764.2	0.014	38.1	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	194,411.0	9.76	1,897.5	0.489	95.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,661.7		133.2	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,483.0			0.251	1.6	
	公共下水道		m ³	6,483.0			0.439	2.8	
合計								4.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立西葛西中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	8	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西 5-10-18									
事業所等の延床面積	7,063.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	86	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	166 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	171 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	23.5 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	21,655.0	45.00	974.5	0.014	48.6	
	その他(灯油)		L	40.0	36.70	1.5	0.019	0.1	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	241,548.0	9.76	2,357.5	0.489	118.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²				kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計						3,333.5		166.8	
その他	水道及び工業用水道			m ³	8,548.0			0.251	2.1
	公共下水道			m ³	8,548.0			0.439	3.8
合計								5.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立東葛西中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	9	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東葛西 6-40-1									
事業所等の延床面積	6,234.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	85	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	166 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	171 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.6 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	20,785.0	45.00	935.3	0.014	46.6	
	その他(灯油)		L	372.0	36.70	13.7	0.019	0.9	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	244,214.0	9.76	2,383.5	0.489	119.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²				kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計						3,332.5		167.0	
その他	水道及び工業用水道			m ³	8,127.0			0.251	2.0
	公共下水道			m ³	8,127.0			0.439	3.6
合計								5.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立清新第一中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	9	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	7	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	清新町 1-5-14									
事業所等の延床面積	6,026.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	65	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	127 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	132 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	21.0 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	18,447.6	45.00	830.1	0.014	41.4	
	その他(灯油)		L	180.0	36.70	6.6	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	174,897.0	9.76	1,707.0	0.489	85.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,543.7		127.4	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,841.0			0.251	2.0	
	公共下水道		m ³	7,841.0			0.439	3.4	
合計								5.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立清新第二中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	9	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	7	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	以 清新町 2-1-2									
事業所等の延床面積	7,148.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	64	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	125	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	3	t
	総計(= +)	128	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	17.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	14,300.7	45.00	643.5	0.014	32.1	
	その他(灯油)		L	162.0	36.70	5.9	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	189,416.0	9.76	1,848.7	0.489	92.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,498.2		125.1	
その他	水道及び工業用水道		m ³	4,752.0			0.251	1.2	
	公共下水道		m ³	4,752.0			0.439	2.1	
合計								3.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策			CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB07	空調機スイッチに空調範囲を表示
				D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立瑞江中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	9	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 4-16									
事業所等の延床面積	4,924.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	57	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	112 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	116 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	22.7 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	13,726.5	45.00	617.7	0.014	30.8	
	その他(灯油)		L	126.0	36.70	4.6	0.019	0.3	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	166,282.0	9.76	1,622.9	0.489	81.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,245.2		112.4	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,387.0			0.251	1.6	
	公共下水道		m ³	6,387.0			0.439	2.8	
合計								4.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策			C115	事務用機器を業務終了時に停止
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備導入対策			D105	換気フィルターの清掃・点検

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立瑞江第二中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	9	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西瑞江 2-15-3									
事業所等の延床面積	5,786.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	61	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	120	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	124	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	20.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	16,594.6	45.00	746.8	0.014	37.2	
	その他(灯油)		L	126.0	36.70	4.6	0.019	0.3	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	169,207.0	9.76	1,651.5	0.489	82.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,402.8		120.3	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,521.0			0.251	1.6	
	公共下水道		m ³	6,521.0			0.439	2.9	
合計								4.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立瑞江第三中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	9	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東瑞江 1-38-33									
事業所等の延床面積	5,636.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	81	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	157 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	6 t
	総計(= +)	163 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	27.8 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	22,842.1	45.00	1,027.9	0.014	51.3	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	217,568.0	9.76	2,123.5	0.489	106.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,151.4		157.6	
その他	水道及び工業用水道		m ³	9,205.0			0.251	2.3	
	公共下水道		m ³	9,205.0			0.439	4.0	
合計								6.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立春江中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	9	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	0	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	春江町 2-47-1									
事業所等の延床面積	5,053.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	71	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	138 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	6 t
	総計(= +)	144 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	27.3 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	16,286.2	45.00	732.9	0.014	36.5	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	209,014.0	9.76	2,040.0	0.489	102.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,772.9		138.8	
その他	水道及び工業用水道		m ³	9,414.0			0.251	2.4	
	公共下水道		m ³	9,414.0			0.439	4.1	
合計								6.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立鹿本中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	9	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	4	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松本 1-36-1									
事業所等の延床面積	5,699.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	78	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	152 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	156 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.6 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	18,480.5	45.00	831.6	0.014	41.5	
	その他(灯油)	L	320.0	36.70	11.7	0.019	0.8	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	225,912.0	9.76	2,204.9	0.489	110.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					3,048.3		152.7	
その他	水道及び工業用水道	m ³	6,436.0			0.251	1.6	
	公共下水道	m ³	6,436.0			0.439	2.8	
合計							4.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C110	余熱利用による早めの空調停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			CB01	空室・不在時等のこまめな消灯

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立鹿骨中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	9	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	7	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	鹿骨 2-12-1									
事業所等の延床面積	5,857.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	72	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	140 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	145 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	23.9 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	13,925.6	45.00	626.7	0.014	31.2	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	222,482.0	9.76	2,171.4	0.489	108.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,798.1		140.0	
その他	水道及び工業用水道		m ³	8,029.0			0.251	2.0	
	公共下水道		m ³	8,029.0			0.439	3.5	
合計								5.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立篠崎中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	0	9	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	篠崎町 5-12-19									
事業所等の延床面積	7,751.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	81	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	158	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5	t
	総計(= +)	163	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	20.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	20,103.5	45.00	904.7	0.014	45.1	
	その他(灯油)		L	126.0	36.70	4.6	0.019	0.3	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	231,627.0	9.76	2,260.7	0.489	113.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,170.0		158.7	
その他	水道及び工業用水道		m ³	8,505.0			0.251	2.1	
	公共下水道		m ³	8,505.0			0.439	3.7	
合計								5.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C116_個人用端末の不用・離席時の停止、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立篠崎第二中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	1	0	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	下篠崎町 14-1									
事業所等の延床面積	6,092.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	78	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	153	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4	t
	総計(= +)	157	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	25.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	17,836.7	45.00	802.7	0.014	40.0	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	231,161.0	9.76	2,256.1	0.489	113.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,058.8		153.1	
その他	水道及び工業用水道		m ³	7,220.0			0.251	1.8	
	公共下水道		m ³	7,220.0			0.439	3.2	
合計								5.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C110	余熱利用による早めの空調停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立小岩第一中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	1	0	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩 3-10-8									
事業所等の延床面積	5,981.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設			商業施設(飲食) その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	65	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	127 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	131 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	21.2 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	18,984.1	45.00	854.3	0.014	42.6	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	173,810.0	9.76	1,696.4	0.489	85.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,550.7		127.6	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,155.9			0.251	1.5	
	公共下水道		m ³	6,155.9			0.439	2.7	
合計								4.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立小岩第二中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	1	0	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩 1-6-10									
事業所等の延床面積	6,416.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	79	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	153 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	158 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	23.8 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	24,063.9	45.00	1,082.9	0.014	54.0	
	その他(灯油)		L	234.0	36.70	8.6	0.019	0.6	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	202,662.0	9.76	1,978.0	0.489	99.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,069.4		153.7	
その他	水道及び工業用水道		m ³	8,561.0			0.251	2.1	
	公共下水道		m ³	8,561.0			0.439	3.8	
合計								5.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立小岩第三中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	1	0	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北小岩 8-19-1									
事業所等の延床面積	7,384.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	81	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	158	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	7	t
	総計(= +)	165	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	21.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	27,019.9	45.00	1,215.9	0.014	60.6	
	その他(灯油)		L	160.0	36.70	5.9	0.019	0.4	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	198,532.0	9.76	1,937.7	0.489	97.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,159.4		158.1	
その他	水道及び工業用水道		m ³	10,470.0			0.251	2.6	
	公共下水道		m ³	10,470.0			0.439	4.6	
合計								7.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C115_事務用機器を業務終了時に停止、C116_個人用端末の不用・離席時の停止、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB02_照明スイッチに点灯範囲を表示、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立小岩第四中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	1	0	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	7	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西小岩 3-9-18									
事業所等の延床面積	5,133.00 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	69	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	135 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	139 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	26.3 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	20,143.2	45.00	906.4	0.014	45.2	
	その他(灯油)		L	252.0	36.70	9.2	0.019	0.6	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	183,204.0	9.76	1,788.1	0.489	89.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,703.8		135.4	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,691.0			0.251	1.7	
	公共下水道		m ³	6,691.0			0.439	2.9	
合計								4.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立小岩第五中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	1	0	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	7	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	鹿骨 5-27-1									
事業所等の延床面積	5,527.24		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	69	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	134 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	5 t
	総計(= +)	139 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	24.2 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm ³	17,364.0	45.00	781.4	0.014	39.0	
	その他(灯油)	L	100.0	36.70	3.7	0.019	0.2	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	195,673.0	9.76	1,909.8	0.489	95.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,694.8		134.9	
その他	水道及び工業用水道	m ³	7,711.0			0.251	1.9	
	公共下水道	m ³	7,711.0			0.439	3.4	
合計							5.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB07_空調機スイッチに空調範囲を表示、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区立上一色中学校										
事業所番号	A	0	7	2	3	-	0	1	0	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	4	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	上一色 1-8-11									
事業所等の延床面積	5,365.00		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(= ×0.0258)	58	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(=)	112 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(=)	4 t
	総計(= +)	116 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(= ×1000/事業所等の延床面積)	20.8 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =(/1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm ³	12,312.3	45.00	554.1	0.014	27.6	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	174,085.0	9.76	1,699.1	0.489	85.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ²			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,253.1		112.8	
その他	水道及び工業用水道		m ³	6,842.0			0.251	1.7	
	公共下水道		m ³	6,842.0			0.439	3.0	
合計								4.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=(/1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=(/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =(/1,000) × とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、CB01_空室・不在時等のこまめな消灯、CB03_日本工業規格に準じた照度の設定、CB05_昼休み時の消灯の実施、CB06_冷暖房温度を都の推奨値へ変更、CB08_温度計等による室温の把握と調整、CB09_空室・不在時等の空調停止、CB10_余熱利用による早めの空調停止、CB12_季節に応じた外気導入量の適正化、CB13_中間期における外気冷房の実施、CB18_外灯等の点灯時間の季節別管理</p>
--